

## 〈講演会アンケートより〉

小松與志子さん講演会には次のような感想が寄せられました。



### 講演についての感想

- ・講演が一方向的でなく、参加者とのやりとりが多くあることで、参加者の理解を深めることができ良かった。
- ・私も先生と同じ障がい者の母なので共感できた。
- ・実際に障がいのある子供をもった方の話をきくことで子供を育てる親の気持ちを共有することができる。
- ・「一番かわいそうなのは誰ですか？」という根本的な所に気付くまで、様々な葛藤があるのでどうしても時間がかかる。認識できると、次の一手が打てると思う。
- ・二次障がいを起こさない支援ができるよう精進したい。
- ・私の会社で特例子会社を設け障がいのある方の就労を支援している。先生のお話しはやはり知識と周囲の理解を得ることが大切とわかった。
- ・親の立場も解るし、子供の気持ちもわかる講演で為になった。
- ・先生の話聞き改めてカーンや登場人物の話思い出し、人物の心の中の動きが、とてもよく理解できて胸が熱くなった。
- ・アスペルガーの話は初めて聞く話だったので興味深かった。
- ・ラジオ放送の全てを、聴いたのは初めての講演経験だったが、ラジオドラマにとっても引き込まれた。
- ・障がい児との大変な経験が脚本家の礎になったことを活かしてこれからも発達障がいの理解が広まるようご活躍を期待している。この先市町村で、どのように支援できるか？と考えさせられた。



### 八千代町自立支援協議会へのご意見

- ・参加者40人、社会、各種委員など関心がなさそう。せっかくの機会なのに残念。
- ・今日のような講演会の機会をふやして、一人でも多くの町民の方々が、障がい、ひきこもり、その他ハンディーを抱えている。方々に温かく、理解認識してほしいと願っている。
- ・精神障がいを持っているが、周りに支えられて今を生きられている。
- ・障がいのある人が、生きやすい社会を求め
- ・今日が発達障がいに対して地域、親、家族の認識を高めていくひとつのきっかけになるのではないか。
- ・相談できるところを増やしてほしい。

#### 編集後記

今回は集おう、の記事を初めて書かせていただきました。ここだよりの発行が5号となり作成にも慣れてきました。

発行者：八千代町地域自立支援協議会

発行日：平成31年1月15日

お問合せ：八千代町保健福祉部

福祉課 障がい福祉係

T E L 0296-49-3941

F A X 0296-48-4371

八千代町地域自立支援協議会は、誰もが暮らしやすい地域社会を作るために、悩みのある人や困っている人、地域の人みんなが話し合い、共に考え行動することを目的としています



いつしよに  
ここから  
はじめよう

八千代町地域自立支援協議会

### 講演会

## 「障がい者に寄り添って生きること」

### ～脚本家として母として～

平成30年11月10日(土) 13時30分より脚本家小松與志子さんの講演会を開催しました。

始めにFMシアター「カーン」を会場に流し、42名の参加者が芸術祭大賞受賞のラジオドラマに聴き入りました。「カーン」は聴覚障がいのある男の子と野良犬カーンの物語です。男の子をとりまく「親」、「学校の上級生」、「サッカー少年」、「手話の友達」などの心象をカーンが鋭く分析し、偏見や差別、人間社会のモラルなどについてカーンの言葉で語ります。束縛を嫌うカーンでしたが、ドラマの最後に男の子の聴導犬になるため、訓練を受けることを決心します。



この作品の背景に、講師・小松與志子さんが、アスペルガー症候群の息子さんを育てる過程での体験が強かった事を講演の中で話されました。社会に適応できず「親のしつけが悪い」と言われたり、学校でいじめられたり……親子ともに辛い経験を繰り返していました。そして出会ったカウンセラーに小松さんの心の内をすっかり話した時「一番かわいそうな人は誰ですか？」と尋ねられたそうです。小松さんは、「今まで苦勞していると思っていたのは自分だった。『カーン』に出てくる男の子の母親が自分の投影です。」と話されました。

そして脚本家としての小松さんは「平和」と「障がい者に寄り添う」をテーマにオリジナルの作品作りをしています。脚本を作るときに心がけることを、井上ひさしさんの言葉を引用して「難しいことをやさしく、易しいことを深く、深いことを愉快地に」書きたい、とおっしゃっていました。この引用は人と人、人と社会のコミュニケーションにおいても大切なことだと感じました。



※講演会へのアンケートの内容を4ページに掲載しています。



## 第4回「集おう おしゃべりしよう！」 参加しました。

10月27日(土)1:30より「集おう」第4回が開催されました。  
今回もラジオ体操からはじまり、ビーチボールバレーのチーム決めからスタートです。

皆さん和気あいあいとした雰囲気、バレーボールをととても楽しんでいるように感じました。

ボールを全員1回ずつ触って返すという特別ルールで、初めて会う人も多  
中、自然と交流ができ、チーム同士の団結が強まりました。

バトミントンの時間は気ままな感じでお話しながら観戦する人や、バトミン  
トンをプレーする人、小さなお子さんの面倒を見る人もいたり、笑顔が多く  
みられました。

話し合いは場所を畳の和室に移し、それぞれの人がそれぞれ持つ悩み相談を  
話しました。子供の悩みを打ち明けるお母さんがいて、それに相槌を打ち悩み  
を真剣に聞く人、意見や感想などで情報を交わしたり、とても貴重で大切な時  
間でした。

まだまだ話足りない人も多いようで、是非このような場が今後増える事を願  
います。

ここだより編集員櫻井



### 次回「第5回 集おう、おしゃべりしよう！」

**日時** 平成31年3月9日(土)1:30~3:30  
**場所** 農村環境改善センター(八千代町菅谷898-157)  
**参加費** 100円(保険・飲み物代)  
**申込み先** 八千代町福祉課  
TEL0296-49-3941  
FAX0296-48-4371 ※または窓口で

悩みのある人や困っている人、これまで自分のことをしゃべらなかった人  
家族のことで悩んでいる人、ここで一緒におしゃべりしましょう。小さいお子さんも  
遊べますので一緒にご参加下さい。  
スポーツ(ビーチボールバレー・バトミントン)を楽しみたい方は上靴、動きやすい  
服装でご参加ください。  
話題ごとにグループを作って話し合いをします。



## 事業所紹介

### SHIBA まごころデイサービスキッズ

サービス種別 放課後等デイサービス  
住所 〒300-3515  
茨城県結城郡八千代町大渡戸166-2  
電話番号 0296-49-6887  
営業時間 月曜日~金曜日 15:00~17:00  
土曜日 10:00~15:00

子供たちが楽しみながら、才能を育む学びの環境と地域  
の方との交流やまごころ農園では農業体験など生活環境  
に恵まれた施設です。



### クリーベル放課後等デイサービス

サービス種別 放課後等デイサービス  
住所 〒300-3571  
茨城県結城郡八千代町大戸新田78-1  
電話番号 0296-54-5727  
営業時間 月曜日~金曜日 15:00~19:00  
土曜日 9:00~16:00



中学部・高等部を対象に卒業後に向けた放課後等デ  
イサービスになります！少しでも興味を持ちましたら、お  
気軽にご連絡下さい！



**Q01** 放課後等デイサービスとはどのようなサービスですか？

**A** 小学校から特別支援学校高等部に在学する生徒で、放課後や夏休みなど学校が休みの時に余暇活動や、学習などを通じて成長発達を支援するサービスです。事業所によっては学校へ迎えに行き、サービス終了後自宅へ送る事ができます。

**Q02** 日中一時支援事業はどんな利用ができますか？

**A** 障がいのある子供や大人に対し日中、障がい福祉サービス事業所や障がい者支援施設などで、活動の場を提供し、見守り・社会適応のための訓練等を行う事業です。

※Q1、2ともにサービスの利用を希望するときは市町村に申請して、サービス利用の支給決定を受ける必要があります。